

宮崎県高等学校農業教育研究会 第1回委員会に初めて出席しました。・・・18日(月)



高鍋農業高校正門付近

○各学校の校長、農場長、そして事務局(高鍋農業高校)が出席しての会でした。「生徒のために」農業教育がどうあるべきかについて、熱心に話し合われました。(年間5回開催予定)  
(農業に関する学科等がある学校)  
高千穂高校、門川高校、高鍋農業高校、宮崎農業高校、本庄高校、都城農業高校、日南振徳高校、本校8校



高鍋農業高校寮：明倫寮

○高鍋農業高校には、明倫寮という生徒寮があります。食品化学科以外は、農業の後継者ということで全員が寮に入ります。多いときは400名以上の寮生がいたそうですが、現在は250名余りだそうです。寮の部屋は、以前は4人部屋でしたが、現在は2人部屋です。

寮のスローガンが会議室に掲げられていました。・・・「明倫寮キャリアアップ」、「明倫寮ブランド」

○武田先生が、宮崎県学校農業クラブ連盟第1回顧問教師代議員会に出席されたときの報告の中で、農業科部活動について記載しておられたので、紹介しておきます。

☆農業クラブ活動は、農業を学ぶ生徒にとって専門的な学習の延長であり、まとめでもあります。農業界では、農業のオリンピックとも言われ、その歴史は半世紀以上になります。この活動をとおして、進路実現や専門性を高めるばかりでなく、地域農業の課題解決や地域振興を担う存在として注目され、期待も大きくなっています。また、将来の農業のスペシャリストとしての歩み始めともなっています。☆本校にとっては、農業科開設1年目であり、他校と同様の活動の充実は望めないものの、これからの事を鑑みると非常に大切な時期でもあります。先輩のいない1年生に対して、教育者としては勿論のこと、農業高校で学んだ先輩としても、細やかな心持で、多くの活動や経験をさせて、本校農業クラブ活動を充実させたいと考えています。

<今後の農業関係の行事>

・県学校農業クラブ連盟総会 4月28日(木)・県学校農業クラブ県連大会 6月21日(火)・22日(水)

平成23年度 宮崎県高等学校競技力強化推進校指定証交付式がありました。・・・19日(火)



3人で気合いの入った記念撮影

○本年度は、22校21競技44部が、競技力強化推進校指定部となり、指定証が交付されました。本校は、昨年度に引き続き、男子新体操、男子ハンドボール、男子ウエイトリフティング部が指定されました。全国制覇を目指し、宮崎が元気になるように頑張りたいと思います。☆女子ハンドボール部は、もう少しで指定されるレベルだと思います。本年度の県高校総体で優勝し、早く指定されることを期待しています。

(小林高校) 男女の駅伝とバスケット、男子のウエイト

初めての試みでしたが、新入生校内研修は、所期の目的を達成できました。・・・18日・19日



訓練の成果 びしっと決まっています

○1年生は、校内研修に真剣に取り組んだようです。学習指導の時の集中力には驚いたという話も聞きました。校歌コンクールにも一生懸命に取り組んでいて、とても爽やかでした。今の気持ちを忘れずに、3年間を充実させていけば、大きく成長するはずです。



校歌で優勝した経営情報科

○初めての試みで、準備や当日の指導等大変だったでしょうが、大成功だったと思います。改善すべき点もあったかもしれませんが、来年度に活かせるように、検証しておいてください。ご苦労様でした。



学習指導 集中しています



集団訓練 整然と並んで



先生も一緒に行進の練習

平成23年度 工業部会第1回顧問・理事会が開催されました。・・・20日（水）宮崎工業  
○本年度から工業理事となった瀬戸山先生も出席して、1年間の工業部会の事業等について、熱心に話し合われました。どのような方針で、どのようなことが計画されているか、一部をお知らせします。

- ・会長：大重（宮崎工業）、副会長：富山（延岡工業）、井上（都城工業） 竹下（宮崎工業：教頭）
- ・県教委として、キャリア教育を基盤に据えて取り組んでいく。今までの教育活動をキャリア教育の視点でとらえる。今学んでいることが、将来何になるのかを考えさせる。意識改革が大切。
- ・「明日の産業を担う専門高校スペシャリスト育成支援事業」について（最終年度）

教科横断的なものづくり・・・本校は農業とのコラボで「植物工場」

- ・「宮崎ものづくり人材育成塾」について：8月17日（水）～19日（木）延岡市
- ・工業部会総会 5月13日（金） 宮崎市民文化ホール
- ・第5回高校生ものづくりコンテストについて・・・6月11日（土）宮崎工業高校

☆本年度も本校生の活躍を大いに期待しています。

平成23年度 人権教育研究員配置説明会が開催されました。・・・21日（木）県庁7号館  
○本校は、本年度も中武先生が研究員で、中心となり人権教育活動を推進していきます。県下ではこれまで6校に配置されていた研究員が、財政縮減のため、5校に減らされたのは残念です。

宮崎海洋高校、飯野高校、延岡工業高校、日向高校 ※日向高校は新設

☆東日本大震災による原子力発電所の事故関係でも、いじめや差別、偏見があるようです。もっと人権感覚を向上させる必要がある。（本県には、被災地から31名の児童生徒が転校して来ている。）

全学年揃っての徒歩での歓迎遠足で、秀峰生としての「絆」が深まりました。

○22日（金）は、初めての取組で、天気が心配されましたが、何とか所期の目的を達成することができました。それも、準備段階から一生懸命取り組んだ生徒会や先生方のご指導があつてのことだと思います。奉仕作業が十分にできなかったのは残念でしたが、次年度への改善点も分かったと思います。秀峰生としての「よさ」を多く見ることでできた素晴らしい遠足でした。

☆集団行動がしっかりできていました。（行き帰りの行動。学校・現地での集合状況）

☆服装容儀・行動面も全く問題ありませんでした。（体操服をきちんと着用。爽やかな行動）

☆けが人が一人もいませんでした。（交通安全を心掛けていました。レクリエーションでもけが人皆無）

☆生徒会、各学科が、「絆」を深めるために趣向を凝らして活動しました。



全学年が坂道を上って来る



各学科で歓迎会が行なわれる



お弁当を自然の中で味わう

※歓迎遠足の写真（86枚程度）を本校HPの「秀峰の歩み」の中の「4才の歩み」に掲載中。

☆4月20日で、口蹄疫から1年が経過しました。新燃岳噴火、鳥インフルエンザ、そして東日本大震災、さらには原子力発電所事故の問題と大変な日々が続いています。早く収束し、復興へと祈る毎日です。今週はゴールデンウィークを有意義に過ごす計画を立てるよう指導することも大切です。